



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2017

No. 16 (平成29年7月19日発行)

佐高 インスパイア ファイル

インドネシアでウイルス調査!

田上真衣さん(2年3組)が、宇都宮大学の科学人材育成プログラム(**IP-U**)の才能育成プランの一環として実施する「**インドネシア調査研究チーム**」の一員に選出されました。2017年8月15日(火)~23日(水)の9日間、インドネシアの首都**ジャカルタ**、**ロンボク島**、**バリ島**で、植物感染症のウイルス調査を行います。

Q1 インドネシアで何を調査するのですか?

今回私は植物感染症の研究を行う上で必要なサンプル採集のためにインドネシアを訪問します。

今、世界で9人に1人が餓死しています。現在でさえ食糧が不足しているのに、ウイルスなどによって引き起こされる植物感染症によって農作物が被害を受けたら、世界はどうなるのでしょうか。感染症を防ぐためにはワクチン等の開発が必要ですが、そのためには、ウイルスについて深く知る必要があります。

インドネシアは赤道直下の熱帯性気候で、気温は高いですが8月は乾期のためほとんど雨が降りません。植物感染症のウイルスが活性化する条件が揃っているため、サンプル採集のためにはうってつけというわけです。

Q2 今回の調査で楽しみにしていることは何ですか?

私のような高校生が世界規模の食糧問題の解決に少しでも関われることはとても嬉しいです。サンプルの採集はもちろんですが、インドネシアでの生活も楽しみです。日本とインドネシアには、暑さ、食事、言語など様々な文化の違いがあります。その違いを体験してきたいと思います。また、この訪問ではたくさんの方々とお話す機会があります。自分がどこまで通用するのか、そして、この経験が自分にどのような影響を与えるのが楽しみです。

Q3 将来、どのようなことに挑戦してみたいですか?

将来私がどんな道を進むとしても、グローバル社会を生きるためには、広い視野を持つ必要があります。そこで、今回は「視野を広げる」ことを私のミッションとしました。何事にも積極的に失敗を恐れず挑戦したいです。未来を描き、実現のために努力することを通して、科学者としてだけでなく、人としても成長したいです。

今の自分のすべてをぶつけて研修に挑みますので見守っていただければ幸いです。



ロンボク島 (<https://www.ab-road.net/>より)